

# 2026年3月期 第2四半期(中間期)決算短信(日本基準)(連結)

2025年11月11日

上場会社名 コンドーテック株式会社  
 コード番号 7438 URL <https://www.kondotec.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長  
 半期報告書提出予定日 2025年11月11日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

(氏名) 浜野 昇  
 (氏名) 矢田 裕之  
 TEL 06-6582-8441  
 配当支払開始予定日 2025年11月26日

(百万円未満切捨て)

## 1. 2026年3月期第2四半期(中間期)の連結業績(2025年4月1日～2025年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	40,636	5.2	2,169	6.2	2,279	5.7	1,459	4.3
2025年3月期中間期	38,640	2.0	2,042	8.6	2,157	7.4	1,525	1.3

(注) 包括利益 2026年3月期中間期 1,491百万円 (1.6%) 2025年3月期中間期 1,467百万円 (8.6%)

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	57.01	
2025年3月期中間期	59.70	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	65,830	39,287	56.6
2025年3月期	65,247	38,350	55.7

(参考) 自己資本 2026年3月期中間期 37,260百万円 2025年3月期 36,328百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期		23.00		23.00	46.00
2026年3月期		26.00			
2026年3月期(予想)				26.00	52.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	85,000	7.4	4,600	3.0	4,800	2.6	3,350	2.4	130.82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2026年3月期中間期	26,344,400 株	2025年3月期	26,344,400 株
2026年3月期中間期	730,700 株	2025年3月期	753,992 株
2026年3月期中間期	25,600,266 株	2025年3月期中間期	25,550,198 株

期末自己株式数

期中平均株式数(中間期)

第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

## 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項につきましては、添付資料3ページ「1.当中間決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

当社は、決算の補足説明資料を作成しており、決算発表後、速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 中間連結貸借対照表 .....	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 .....	6
中間連結損益計算書 .....	6
中間連結包括利益計算書 .....	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等の注記) .....	9

## 1. 当中間決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、一部の業種を中心に米国の関税政策等による影響がみられるものの、個人消費や民間設備投資に持ち直しの動きがみられ、雇用・所得環境にも改善がみられるなど、緩やかに回復してまいりました。しかしながら、物価上昇の継続や米国の関税政策による影響など、景気や企業収益は依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループ関連業界におきましては、公共投資が堅調に推移していることに加え、民間設備投資に持ち直しの動きがみられるものの、おおむね横ばいとなっていた住宅投資が弱含むなど、分野によって濃淡がある状況となっております。

このような状況のもとで、当社グループは、新規販売先の開拓や休眠顧客の掘り起こし、新商材の提供、拠点展開などの成長戦略に取り組んでまいりました。また、2025年10月には鈴東株式会社及び琉球ブリッジ株式会社の子会社化を決定するなど、当社グループの成長を加速させるM&Aも推進しております。

以上の結果、比較的堅調な分野の需要を取り込んだことにより、当中間連結会計期間の売上高は40,636百万円(前年同期比5.2%増)と増収になりました。

利益面につきましては、人件費及び賃借料の増加や上田建設株式会社の子会社化による販売費及び一般管理費の増加を増収効果や売上総利益率の改善で吸収したことにより、営業利益は2,169百万円(同6.2%増)、経常利益は2,279百万円(同5.7%増)と増益になりました。しかしながら、前中間連結会計期間に計上した投資有価証券売却益が剥落した結果、親会社株主に帰属する中間純利益は1,459百万円(同4.3%減)となりました。

当中間連結会計期間におけるセグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### <産業資材>

建設需要が全体的に伸び悩んだことに伴い販売数量が減少したものの、大口受注の増加により販売価格が上昇した結果、当セグメントの売上高は18,876百万円(前年同期比2.9%増)となりました。利益面につきましては、人件費や賃借料を中心に販売費及び一般管理費が増加したものの、増収効果に加え、売上総利益率を意識した営業展開により売上総利益率が改善した結果、セグメント利益は1,355百万円(同12.8%増)となりました。

#### <鉄構資材>

大型物件が堅調に推移する一方で中小物件が停滞したことに伴い販売数量が伸び悩んだものの、需要が堅調な大型物件の比率の増加により販売価格が上昇した結果、当セグメントの売上高は10,966百万円(前年同期比2.4%増)となりました。利益面につきましては、競合他社との価格競争の激化による売上総利益率の低下に加え、人件費や運賃を中心に販売費及び一般管理費が増加した結果、セグメント利益は701百万円(同7.3%減)となりました。

#### <電設資材>

2027年蛍光灯製造中止に伴うLEDの駆け込み需要の他、同年省エネ基準改定に伴う大型の設備投資案件に対して、高圧受変電設備・電線・太陽光発電設備、空調機器売上が堅調に推移した結果、当セグメントの売上高は6,233百万円(前年同期比12.3%増)となりました。利益面につきましては、人件費や物流コストが増加したものの、増収効果や仕入価格上昇分の販売価格への転嫁、仕入価格引下げ交渉の徹底、利益率の高い工事需要の取り込み等、売上総利益率を意識した営業展開と全社的な経費削減に努めた結果、セグメント利益は257百万円(同50.3%増)となりました。

#### <足場工事>

足場機材価格の高止まりに伴い物販売上が減少したものの、橋梁・土木関連や大型物件向けの工事売上が好調に推移したことに加え、前連結会計年度に子会社化した上田建設株式会社の売上高が寄与した結果、当セグメントの売上高は4,560百万円(前年同期比13.0%増)となりました。利益面につきましては、外注工事比率の増加等による売上総利益率の低下に加え、減価償却費及び人件費の増加や上田建設株式会社の子会社化により販売費及び一般管理費が増加した結果、セグメント損失は116百万円(前年同期はセグメント損失62百万円)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### ①資産、負債及び純資産の状況

当中間連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末（65,247百万円）と比較して583百万円増加し、65,830百万円となりました。これは、現金及び預金の減少等があったものの、売上債権の増加等を主因として、流動資産が334百万円増加したとともに、のれん等の償却による無形固定資産の減少等があったものの、有形固定資産の増加等を主因として、固定資産が248百万円増加したことによります。

負債合計は、前連結会計年度末（26,896百万円）と比較して352百万円減少し、26,543百万円となりました。これは、長期借入金の増加等を主因として、固定負債が626百万円増加した一方で、仕入債務及び大阪本社社屋の建替に関する債務の減少等を主因として、流動負債が979百万円減少したことによります。

純資産合計は、前連結会計年度末（38,350百万円）と比較して936百万円増加し、39,287百万円となりました。これは、剰余金の配当588百万円の支払いによる減少等があったものの、親会社株主に帰属する中間純利益1,459百万円の計上による増加等があったことによります。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末（55.7%）比、0.9ポイント改善し56.6%となりました。

### ②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末（15,476百万円）と比較して828百万円減少し、14,648百万円となりました。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における営業活動の結果、前年同期に獲得した資金（1,977百万円）と比較して912百万円減少し、1,064百万円の資金を獲得しました。

これは、売上債権の増加1,019百万円、仕入債務の減少278百万円及び法人税等の支払い680百万円等により資金を使用した一方で、税金等調整前中間純利益の計上2,284百万円及び減価償却費の計上666百万円等により資金を獲得したことによります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における投資活動の結果、前年同期に使用した資金（1,154百万円）と比較して707百万円増加し、1,862百万円の資金を使用しました。

これは、有形固定資産の取得1,819百万円等により資金を使用したことによります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における財務活動の結果、前年同期に使用した資金（728百万円）と比較して674百万円減少し、54百万円の資金を使用しました。

これは、長期借入による収入1,000百万円により資金を獲得した一方で、長期借入金の返済による支出249百万円及び配当金の支払い588百万円等により資金を使用したことによります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の業績予想におきましては、2025年5月14日の「2025年3月期 決算短信」の発表時に公表した業績予想から変更はありません。

## 2. 中間連結財務諸表及び主な注記

### (1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年 3 月31 日)	当中間連結会計期間 (2025年 9 月30 日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,476	14,648
受取手形、売掛金及び契約資産	11,578	11,889
電子記録債権	4,828	5,502
商品及び製品	6,312	6,044
仕掛品	853	1,032
原材料及び貯蔵品	1,062	1,152
その他	639	815
貸倒引当金	△10	△9
流動資産合計	40,740	41,074
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,097	4,128
土地	9,813	10,173
その他（純額）	5,079	5,082
有形固定資産合計	18,991	19,384
無形固定資産		
のれん	2,490	2,305
その他	1,370	1,329
無形固定資産合計	3,861	3,635
投資その他の資産		
退職給付に係る資産	801	825
その他	915	960
貸倒引当金	△62	△49
投資その他の資産合計	1,654	1,736
固定資産合計	24,507	24,755
資産合計	65,247	65,830

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年 3 月 31 日)	当中間連結会計期間 (2025年 9 月 30 日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,685	4,855
電子記録債務	9,648	9,200
短期借入金	3,605	3,505
1 年内返済予定の長期借入金	417	611
未払法人税等	763	892
賞与引当金	946	985
その他	3,335	2,371
流動負債合計	23,401	22,422
固定負債		
長期借入金	1,137	1,694
退職給付に係る負債	365	387
その他	1,991	2,039
固定負債合計	3,494	4,121
負債合計	26,896	26,543
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,666	2,666
資本剰余金	2,460	2,472
利益剰余金	32,968	33,839
自己株式	△778	△754
株主資本合計	37,316	38,224
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	145	182
繰延ヘッジ損益	△12	0
土地再評価差額金	△1,516	△1,516
為替換算調整勘定	122	146
退職給付に係る調整累計額	272	222
その他の包括利益累計額合計	△988	△964
非支配株主持分	2,022	2,026
純資産合計	38,350	39,287
負債純資産合計	65,247	65,830

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書  
(中間連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	38,640	40,636
売上原価	30,164	31,607
売上総利益	8,475	9,029
販売費及び一般管理費	6,433	6,860
営業利益	2,042	2,169
営業外収益		
受取利息	2	5
受取配当金	2	4
仕入割引	73	83
雑収入	55	48
営業外収益合計	134	142
営業外費用		
支払利息	10	23
雑損失	8	8
営業外費用合計	19	31
経常利益	2,157	2,279
特別利益		
固定資産売却益	5	9
投資有価証券売却益	192	—
特別利益合計	197	9
特別損失		
固定資産売却損	1	—
固定資産除却損	1	4
特別損失合計	2	4
税金等調整前中間純利益	2,352	2,284
法人税、住民税及び事業税	790	814
法人税等調整額	33	4
法人税等合計	824	819
中間純利益	1,528	1,465
非支配株主に帰属する中間純利益	3	6
親会社株主に帰属する中間純利益	1,525	1,459



(中間連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	1,528	1,465
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△27	37
繰延ヘッジ損益	△42	13
為替換算調整勘定	27	24
退職給付に係る調整額	△17	△50
その他の包括利益合計	△60	25
中間包括利益	1,467	1,491
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	1,465	1,483
非支配株主に係る中間包括利益	2	7

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	2,352	2,284
減価償却費	633	666
のれん償却額	166	185
株式報酬費用	20	27
貸倒引当金の増減額(△は減少)	9	△14
賞与引当金の増減額(△は減少)	△55	39
株式給付引当金の増減額(△は減少)	△20	—
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△80	△97
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	13	21
受取利息及び受取配当金	△5	△10
支払利息	10	23
投資有価証券売却損益(△は益)	△192	—
固定資産売却損益(△は益)	△3	△9
固定資産除却損	1	4
売上債権の増減額(△は増加)	1,299	△1,019
棚卸資産の増減額(△は増加)	△302	△1
仕入債務の増減額(△は減少)	△484	△278
未払消費税等の増減額(△は減少)	△131	17
その他	△256	△80
小計	2,976	1,759
利息及び配当金の受取額	5	10
利息の支払額	△11	△24
法人税等の支払額	△994	△680
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,977	1,064
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,328	△1,819
投資有価証券の売却による収入	273	—
その他	△99	△43
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,154	△1,862
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△5	△100
長期借入れによる収入	—	1,000
長期借入金の返済による支出	△134	△249
自己株式の取得による支出	—	△0
配当金の支払額	△510	△588
非支配株主への配当金の支払額	△2	△2
その他	△75	△113
財務活動によるキャッシュ・フロー	△728	△54
現金及び現金同等物に係る換算差額	25	23
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	119	△828
現金及び現金同等物の期首残高	11,836	15,476
現金及び現金同等物の中間期末残高	11,956	14,648

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					調整額 (注2)	中間連結損益 計算書計上額 (注1)
	産業資材	鉄構資材	電設資材	足場工事	計		
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	18,340	10,712	5,551	4,034	38,640	—	38,640
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	224	52	122	52	452	△452	—
計	18,565	10,765	5,674	4,087	39,092	△452	38,640
セグメント利益又は損失(△)	1,201	756	171	△62	2,067	△25	2,042

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△25百万円には、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					調整額 (注2)	中間連結損益 計算書計上額 (注1)
	産業資材	鉄構資材	電設資材	足場工事	計		
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	18,876	10,966	6,233	4,560	40,636	—	40,636
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	203	53	395	63	715	△715	—
計	19,079	11,020	6,628	4,623	41,352	△715	40,636
セグメント利益又は損失(△)	1,355	701	257	△116	2,198	△29	2,169

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△29百万円には、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。